

令和5年度 がん教育等外部講師連携支援事業 「がん教育外部講師派遣」 報告書

学校等名 佐世保市立祇園中学校

担当者名 内野 舞

電 話 0956-24-8686

F A X 0956-24-8659

実施日	令和5年11月6日(月) 10:00 ~ 13:00				
場 所	佐世保市立祇園中学校 体育館				
講座名	がん教育講演会 「がんについて正しく知ろう ～命の大切さを考える～」				
講 師	みさかえの園あゆみの家 副施設長 岡田 雅彦 氏				
近隣校 への案内	案内先: 潮見小学校・木風小学校・祇園小学校・山手小学校・小佐世保小学校・ 白南風小学校・九文小中学校・宇久小学校・山澄中学校・宇久中学校 計 10 校				
参加者	児童・生徒 全学年 (380)人	学校職員 (25)人	保護者 (6)人	他校職員等 (3)人	その他 ()人
	総計(414)人				
テーマと 内 容	テーマ「がんについて正しく知ろう ～命の大切さを考える 」 前半:がんとはどのような病気かを知る。がんの予防には何をすればよいか。がん検診の大切さ。 後半:がんになった人の気持ちについて考える。いのちを大事にするとは。自立について考える。				

＜当日の様子＞ * 事業の様子等を必ず画像で添付してください。



＜講師からの指導や助言・成果＞

- ・がんは2人に1人になるといわれており、誰でもなる可能性がある。生活習慣をよくすることでその可能性を半減できる。
 - ・がんが小さいうちは症状が出にくい、小さいうちに見つけると95%は治る。(早期発見と検診の重要性)
 - ・自分の病気のことを知り、最もよい治療法を自分で選ぶことが大事。「体の痛み」と「心の痛み」への支援。
 - ・自分が生きる意味とは、リダンダンシー(代わりになるもの)がきかないところにある。
 - ・「自立」とは、不特定多数の人に支えられて立つこと。「迷惑」ではなく、支えられることがあってもいい。ある時は人を支え、ある時は人から支えられる、それが自然にできる社会をつくりたい。
- 生徒だけでなく、教職員や保護者の感想からも、「自立」や「迷惑」について深く考える機会になったことがわかった。がんへの正しい理解と同時に、互いに支え合う関係づくりの大切さを再認識することができた。

＜今後の取組及び課題＞ * 今後のがん教育の充実に向けての活用等

この機会に「がん教育推進のための教材」について知らせることができたので、今後はその活用について呼びかけると同時に、定期的に専門医の講演会を開催し、すべての生徒にがんについての正しい知識を習得させたい。